

株式会社 愛知工務店

平成29年10月24日(火) 午後1時30分～
会場：大府市勤労文化会館 研修室
講師：応用教育研究所 参与・研修主事
杉村 秀充 氏
演題：「職場と家庭 – 人間関係のヒント –」



第 36 回安全大会

今回の研修は、(株) 愛知工務店安全衛生協力会第 36 回安全大会における研修として実施されました。参加者は、20 代から 50 代以上の社員 71 名のみなさんです。

安全大会では、「安全標語入選作表彰」や「協力会員感謝状贈呈」が行われ、安全の誓いの後、息の合った「無事故がんばろうシュプレヒコール」などもあり、最後に職場内家庭教育研修会として開催していただきました。



講師の杉村先生は、「**構成的グループエンカウンター**」を長年ライフワークとして取り組んでみえた方です。最初に、参加者同士が簡単なエクササイズ「ひたすらジャンケン」を行いました。他者理解につながる「質問ジャンケン」では、初めて顔を合わせる参加者とも和やかにコミュニケーションがなされ、本当に笑顔が会場にあふれていました。



さらに、参加者はグループを構成して様々なエクササイズを体験しながら、「悪魔のささやき」、「天使のささやき」(プラスとマイナスのセルフトーク)をお互いにつぶやきながら内言(セルフトーク)の大切さを実感していきました。

研修会全体を通して、体験型の研修に参加する機会を初めて経験した参加者は、普段の講演とは違った感想をもたれたようです。ただ、予定されていた時間が短かったこともあり、「もう少し時間をかけて、じっくりとやってみたかった」という声が多く聞かれました。

参加者アンケートから

- 今までにない安全大会でした。人と人のつながりが難しい時代です。大変良かったと思います。今までに聞いたことのない研修会の内容でした。(50代)
- ジャンケン大会もあり、参加型の研修はただ聞くだけの講習とは違い、交流することができて楽しかったです。いつもより多くの方とお話ことができました。全員がコミュニケーションを取ることができるのがいいですね。(40代)
- 短い時間でしたが、今後に活用できると感じる話が多く、楽しかったです。(30代)
- 知らない人と話をする機会は、普段なかなかないことなので新鮮でした。今回は時間が短く、席に座りながらなのでやりにくかったですが、機会があれば、また聞きたいと思いました。(20代)